

令和5年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立馬込第三小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・動画やタブレットの活用により、裁縫道具やミシンの使い方、調理の仕方などを理解することができた。
- ・調理実習が実施できなくても、家庭と連携を取りながら進めたことで、各家庭で調理などの取り組みを丁寧に見てもらうことができた。
- ・保護者の方に手伝いをお願いしながらミシンの使い方の理解を深めることができた。

(2) 課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった調理実習の活動を充実させ、児童の家庭科に対する意欲を高める。
- ・感染症対策のため外部の手伝いを呼ぶことができなかった。(裁縫の手伝いなど)外部の協力を得ながら、裁縫の技能の定着を目指す。
- ・生活経験の乏しさから、積極的に取り組むことができるように教材や教具、ワークシートなどを工夫する。
- ・製作や学習活動について個人差が大きいので、個別指導を取り入れる。

2 授業改善のポイント (観点別)

(1) 高学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・基礎的な調理器具の使い方や裁縫道具の扱い方について、個別に指導できるようにする。・技能面では、スモールステップで組み立てることによって、自身の課題を理解し、解決に向けて少しずつ取り組めるようにする。 | <ul style="list-style-type: none">・日常生活から問題を見出し、様々な解決方法を考えながら、課題を設定する。・家族の一員として、掃除や買い物等の家庭の仕事の計画を考え、工夫しながら取り組めるようにする。 | <ul style="list-style-type: none">・感染症対策を取りながら、調理実習の学習を進める。・家族の一員として、自分のできる家庭の仕事内容をはっきりと考えさせ、取り組ませる。また、学校と家庭で連携をとりながら学習内容に継続して取り組めるようにする。 |